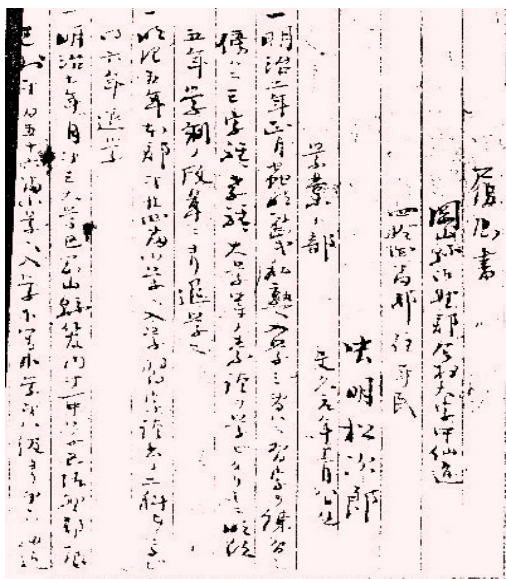


教育者にして政治家—中仙道の人

古「虫明松次郎」さん (その2)



その人の足跡をたずねて

(その2) 修学の履歴

松次郎さんは子どもの時、学校もなかった頃は、どこでどのように勉強したのだろうか。学校ができて、どんなことを習ったのだろうか。興味があった。幸い、本人の学業関係履歴書を見せてもらう機会をえたので、松次郎さんの修学の跡を尋ねてみることにする。

虫明松次郎修学年表 (本人の直筆の履歴書…上掲はその一部…から作成)

年 次	本人年齢	塾又は校名と塾講師	学 習 事 項
明治2-5	7~11歳	私塾 ①蟲明 整	習字、①三字経、孝経 大学の素読
明治5-6	11~12	①御野郡24番小学	習字、読書
明治7	13	②辰巳村156番小学	下等、8-6級
明治8	14	②辰巳村松外小学校	下等、5-4級
明治9	15	②辰巳村順則小学校	下等、3-1級
同 年	15	私塾 ③長瀬 浪次	国史略、日本政記
明治10	16	④雲蒸学舎 平松 坦海	日本外史、十八史略、 論語
明治12-15	18~21	岡山師範学校	
同 時 期		個人教師 山本 翁 上森 誠 西原多喜人	春秋、左氏伝、文章規範 孟子、論語 高次方程式、幾何学、 三角法

○印の箇所は、下記に筆者が注釈を書いた。参考になれば幸い。

註1 蟲明 整さんは、同じ中仙道の人、明治2年は整さん21歳のときである。なお、御野郡24番小学は、この整さん宅に設けられていた。また、三字経は、江戸時代に、漢文3文字を一句として書かれた児童教訓書。

註2 156番小学は、辰巳村の大森喜之吉さん宅納屋に設けられていた。それが、松外小学校と名づけられ、さらに、順則小学校と改称したのである。校舎も池田藩の演武場を譲り受け、辰巳村へ解体移築して利用した。

下等小学課業表

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	級
世 界 宮 名 詠 誌	皇 國 宮 名 詠 誌	天 災 地 異 日 本 國 名 詠 誌	日 本 國 名 詠 誌	日 本 國 名 詠 誌	日 本 國 名 詠 誌	日 本 國 名 詠 誌	日 本 國 名 詠 誌	級
本 郡 村 名	岡 山 市 名	備 前 郡 名	備 前 郡 名	備 前 郡 名	備 前 郡 名	備 前 郡 名	備 前 郡 名	級
分 小 数 化 法 則	諸 等 法	四 則 法	四 則 法	四 則 法	四 則 法	四 則 法	四 則 法	級
盈 朒	同	同	同	同	同	同	同	級
但 シ 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	級
温 泉 場 燈 台 場	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	級
同 体 訓 蒙 上	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	同 宮 城 県 以 下	級

当時は、小学校の課程を上等と下等に分けていた。

松次郎さんの学ばれた下等小学の課程は、左掲のとおりである。ひとつの級の修業は6か月なので、下等小学校を終えるには、4年かかるわけだ。しかし、松次郎さんは、この課程を3年ですませ、上等小学校へも進まず、私塾で勉強して師範学校へ入っておられる。

註3 長瀬浪次さんは、辰巳の人、順則小学校の校長もされた方。(なお、日本政記は、頼 山陽の著書で史書一広辞苑より)

註4 雲蒸学舎の雲蒸とは、「雲蒸龍変」(雲がかすむのに乗じ、蛇が龍に変じて空にのぼる)の言葉からとってつけた名前と思えるが、この名前にあやかりたいとの人気なのか、生徒数は、明治5年頃130人にもなっていた。(岡山市史による)

付記1 雲蒸学舎にしても師範学校にしても校舎は市中である。松次郎さんは、雨の日でも冬の寒い日であろうと、下駄や草履(?)で、家から5キロから6キロの道のりを歩いて通ったのであろう。しかも、帰りは夜道だったに違いない。当時は勉強も大変だった。

付記2 また、松次郎さんは、師範学校に学びながら特別に数学を学んでいる。とくに土木工事や測量に必須の三角法まで勉強しておられる。ただの向学心だけでなく、なにか将来に期するところがあったのであろうか。聞いてみたくなるところだ。(注釈など、書き加えたいことも多きも、余白なく省略)

平成10年4月号 第46号

(中 尾 佐之吉)